

インバウンド客の受け入れ体制づくり

みなさん旅は好きですか？ここだけでしか見ることのできない絶景に息を飲んだり、その土地の美味しいものを食べたり、テンションの上がるアクティビティでスリルを満喫したり、地元の人との交流でつながりができたり。旅にはたくさんの感動や出会いがあり、普段できない「非日常体験」が旅の醍醐味ではないでしょうか。とりわけ海外旅行はまさに異文化に触れあふ非日常旅行ですね。しかし、言語や習慣などの違いから、うまく相手に伝わらなかったり、トラブルになったりすることもあります。そんなときに、同じ日本人や日本語を話せる人会ったりするとホッとしたりもします。

一方、日本を観光地を選ぶ外国人も年々増えており（日本に来る外国人観光客を「インバウンド客」と呼んでいます）、東川町にも大雪山国立公園の雄大な自然や景観に魅了され、多くのインバウンド客が訪れています。しかし、私たちが海外へ行くのと同じように、インバウンド客にも不安があったりします。そこに母国の人や母国語を話せる人がガイドやインストラクターにいるとやはり安心したりします。

しかし東川町に限らず、多くの観光地では言語の問題でインバウンド客の受け入れを断ったりすることも残念ながらあります。外国語をこれから勉強



大雪の麓くひがしかわ的観光イズム

したり習慣を学んだりするのは限界もあり、せっかく訪れるインバウンド客に地域の魅力を十分に伝えられないもどかしさもあります。最近では翻訳アプリなども発達していますが、やはり限界もあります。



ここ東川町には日本語学校があり、年間200名近くの留学生が日本語の勉強をしています。卒業後は観光の仕事に就く学生も少なくなく、観光に興味を持つ学生もいます。また町内には外国語を話せる町民も多く、通訳やガイドサポートとして外国語が不得手なガイドやインストラクターに同行して一緒に案内すれば、地域の魅力をめれなく伝えることも可能です。アグリテックではこれを「観光アシスタントガイド」と呼び、その人材育成と仕組みづくりを行っています。外国語は話せなくとも、町民同士でできることを補い合い、世界中から訪れる人に、言語も心配せずに安心して観光できる「東川町らしい、おもてなしを通して、東川の魅力を世界に発信していければと思います。（つづく）

アクティビティ提供専門ショップ「HAC」
（株）アグリテック代表 中田 浩康



聖パトリックデー

東川町国際交流員（CIR）

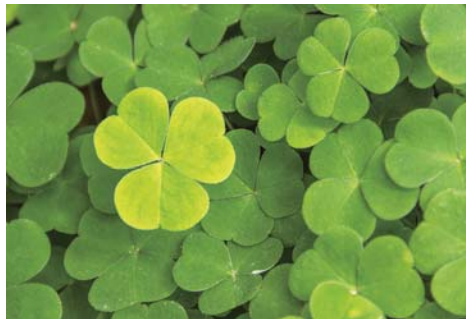
メイヴ・フィーボ

Dia dhaoinn! 皆様こんにちは！新しく着任したアイルランドの国際交流員のメイヴと申します。今まで東川町にアイルランド人の国際交流員は居なかったの、少しアイルランドについてご紹介したいと思います。

みなさんは聖パトリックって聞いたことありますか？聖パトリックは、アイルランドにキリスト教を広めた、アイルランドの三守護聖人の一人です。

今月の17日はその「聖パトリックの日」です。この日に様々な国のアイルランドに關係がある方々がお祝いします。アメリカやカナダやオーストラリアにはアイルランドからの祖先を持っている方が多いです。昔のアイルランドの方々が移住したと同時に、アイルランドの文化を世界中に届けました。

日本では、1992年から東京の原宿表参道でセントパトリックスパレードが



▲聖パトリックのシンボルであるシャムロック（マメ科のクローバー）

行われています。横浜、名古屋、大阪にもパレードがありますが、コロナの影響で2020年から中止になってしまいました。コロナが落ち着いて見に行く機会があれば、日本でもアイルランドの文化を体験することができます。是非行ってみてください！

聖パトリックはアイルランドの守護聖人として代表的な方ですが、実はアイルランド人ではなく、イギリス人でした。およそ西暦461年3月17日が聖パトリックの命日なので、毎年この日にアイルランドにキリスト教を広めてくれたことに感謝しています。

この日が近づくと、アイルランドの町はグリーンやシャムロックで彩られます。これは『聖パトリックは、葉が3つに分かれています、シャムロックを手に、キリスト教の教義である「三位一体」を説いた』という伝説からきています。このことから、シャムロックはアイルランドの国花にもなっています。

ちなみにアイルランドは蛇が存在しない国です。本当かどうかは不明ですが、『聖パトリックがアイルランドから蛇を追いつけてくれた』という伝説が信じられています。